

# 書道Ⅲ学習指導案

指導者 和歌山県立有田中央高等学校

教諭 水口 昌紀

1. 平成25年10月25日(金)第3限目
2. 場所 書道教室(4F)
3. 学年 3年芸術系列書道コース 3名
4. 生徒観 実技力は高く、好奇心をもって授業に取り組むことができる一方、自分を表現することへの苦手意識を抱いている。よって、個別指導を通して効果的な表現方法やその効果を理解させ、表現することの楽しさや喜びを体感させたい。
5. 単元 自己表現を求めて
6. 単元の目標 様々な表現方法とその効果を理解し、その習得に努める。
7. 本時の目標 大作の制作を通して表現の幅をひろげるとともに、鑑賞活動で互いの作品を認め合う態度を養う。
8. 本時の創意工夫
  - ① 本時の学習内容を示す。
  - ② P Pや板書、掲示物による視覚的教材を活用する。
  - ③ 3人で互いの作品について鑑賞し合う場面を活用する。
  - ④ 振り返りシートを使用して自己の課題を明確にさせるとともに、創作活動や範書により自己が表現したい作品を具現化するための効果的な筆法について考えさせる。
  - ⑤ 始業、終業の挨拶の徹底と身だしなみをしっかり整えさせる。

## 9. 本時の展開

	学習内容	学習活動	指導上の留意点*支援	学習形態	創意工夫
導 入	本時の学習内容	始業の挨拶 本時の学習内容を確認	学習の流れを示す。	一斉	⑤ ①・②
展 開	前時の復習	前時を振り返る。	振り返りシートを配付する。	個人	④
	大作の制作を通して、表現の幅をひろげよう。				
	創作活動①	前時の課題を参考に制作に取り組む。	*各生徒に対して、指導を行う。	個人	④
	どのようにすれば、表現の幅をひろげることができるでしょうか？				
	創作活動②	質問に答える。	どのような作品を制作したいのかを明確にさせ、適切な表現方法について考えさせる。(線の太細や墨の潤滑、書く速さや紙面構成と余白のバランスなどについて)	個人	④
鑑賞活動①	範書を見て、イメージしている作品を具現化する。	各生徒の作品の範書を見せることで、効果的な筆法を考えさせる。	一斉	④	
鑑賞活動②	制作した作品を鑑賞し合う。	各々が制作した作品のよい点、また改善したらよくなる点に着目しながら作品を見るように促す。	3人 ↓ 一斉	③	
ま と め	本時のまとめ	振り返りシートを記入する。 終業の挨拶	前回の作品と比較しながら、どのような点において成長が見られたか書かせる。	個人  一斉	④  ⑤